

研究主題 「一人一人を大切にし、信頼関係に立つ教育の推進」に関する本校の実践

学校名 蓮田市立蓮田北小学校

1 教師と児童生徒の信頼関係を築くために、あるいは、いじめ・暴力行為・不登校等の生徒指上の課題を解決するために、小・中連携(小中一貫)をとおして具体的にどのような取り組みをしているか。

【はじめに】

本校は、児童数247名で通常学級10クラスの小規模校である。児童は素朴で落ち着いて伸び伸びと学校生活を送っている。素直ではあるが基本的な生活習慣が未定着の児童や、多動・自閉・学習障害傾向などの問題を抱える児童も増えてきているのが現状である。

【本校の生徒指導の基本方針】

- ①全教育活動を通して継続的に基本的な生活習慣の育成に努める。
- ②児童一人一人をよく理解し、充実した学校生活の指導・援助に努める。
- ③校内生徒指導体制の充実を図る。
- ④家庭・地域との連携に努め、地域ぐるみの生徒指導体制の推進を図る。

【具体的な取り組み】

- ①全教育活動を通して継続的に基本的な生活習慣の育成に努める。
  - 教育に関する3つの達成目標(基本的な生活習慣)の徹底と年間指導項目の設定
  - 《年間重点目標》
    - ①気持ちよいあいさつ・返事★来校者へのあいさつと校外での地域の人へのあいさつを重点
    - ②廊下は私語なく右側歩行(会釈)
    - ③私語のない朝会と体育館への移動

☆学期1回…学校と家庭での自己評価(ふりかえりカード)  
**家庭への啓発**   
 強化項目を集計し次学期の指導に生かす

○月別生活目標…朝会での講話と学年での取り組み&反省カードを活用

《生活目標》



《生活ふりかえりカード》

学校用

家庭用



②児童一人一人をよく理解し、充実した学校生活の指導・援助に努める。

- 基礎学力の定着を図り、学ぶ喜びを味わわせる授業づくり
  - ・ことばの時間 ・計算タイム ・全校読書
  - ・学期末補習授業(サマースクール) →学校応援団(学習ボランティアの協力)
  - ・習熟度別少人数学習《算数(3, 4, 5, 6年)を中心に》等
  - ・学校応援団(学習ボランティア)による授業

【3, 4年生の算数・学習ボランティアによるそろばんの授業】



- 集会活動等の内容の充実（月2回の縦割り班活動での異学年交流、委員会活動の活用、特活行事）
- 市内巡回相談の実施（年2回）とその後の全職員での研修報告会…学習障害を持つ児童の理解と対応
- 蓮北ギネスの認定…児童に自慢と自信を持たせる←校長先生が認定

### ③校内生徒指導体制の充実を図る。

- 生徒指導推進委員会の実施
  - ・全校の生徒指導上の問題解決のための具体的取り組みを検討
  - ・児童理解のための情報交換（学期1回は全体会で情報交換、全員で対策検討をし次の指導に生かす）
- 毎月の生徒指導推進委員会報告の配布
  - ・全職員の共通理解を図り、共通行動を目指す

### ④家庭・地域との連携に努める。

- 教育活動の家庭・地域への公開
  - ・授業参観 ・懇談会 ・バザー ・学校公開 ・学校、学年、学級等各種「たより」
  - ・硬筆展、書き初め展、絵画展の保護者公開 ・年間計画シラバスの配布 ・学校評価アンケート ・学校 HP
- 自治会、民生児童委員、地域団体の協力（登下校パトロール等）
- 学校応援団との連携（学習支援、安全支援、環境支援）
- PTA、職員による学区内パトロール
- 青少年健全育成推進委員会（蓮田中学校区）



【学習支援・夏休みサマースクールへの協力】



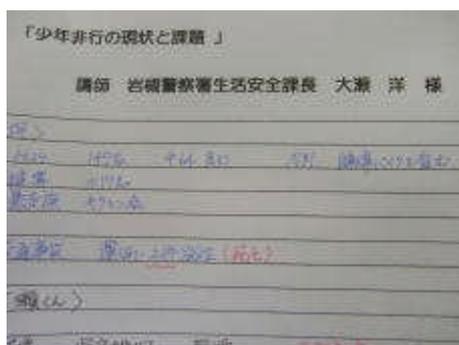
【安全支援・登下校の見守り】



【環境支援・除草作業】

### 【小・中連携の取り組み】

- 中学校入学説明会…6年生児童と保護者合同で授業・部活見学の後、学校概要説明を受け中学校雰囲気を知る。
- 小中連絡会…卒業式後、6年担任と中学校職員で入学前に情報交換をし、学習面生活面での児童の申し送りを行い、スムーズに中学校生活に移行できるよう配慮する。
- 年2回の市内学校警察連絡会…管内の警察の生活安全課の講演と市内小中学校の生徒指導上の問題を情報交換し共通理解を図り、今後の指導に生かす。



【学校警察連絡協議会資料】

情報交換メモ	
日時	2017年10月10日
場所	蓮田中学校
出席者	蓮田中学校 校長 佐藤 洋一、副校長 佐藤 洋一、教務主任 佐藤 洋一、生活安全課 佐藤 洋一
議題	1. 少年非行の現状と課題の報告 2. 少年非行の現状と課題の討議
議事録	佐藤 洋一 少年非行の現状と課題の報告 佐藤 洋一 少年非行の現状と課題の討議
その他	
備考	

### 【今後の課題】

本校児童の課題として校内では挨拶が出来ても、学校外に出たときや来校者に対しての挨拶の不徹底を指摘されることがあるので今後も重点的に指導を進めていかなければならない。

生徒指導は、学習指導・日常の生活指導の充実が基本である。小中9年間を通して必要な学力、生活習慣をしっかり身につけさせるため、小学校卒業までに確実に力をつけて中学校へ送り出さなくてはならない。そのために、学校生活を通して生きがいや達成感を味わわせ、正しい判断と実践のできる子を育てる努力を続けていきたい。

